

## 支部長挨拶

仙南支部支部長 大泉記念病院 佐藤 一弘



いつも宮城県看護協会仙南支部にご理解、ご支援をいただきましてありがとうございます。年度末を迎え、各施設では人事異動や体制の見直し、新年度に向けた準備が進む時期となりました。今年度も地域の皆さまのご助力により、支部活動が円滑に進められたこと、改めて深く感謝申し上げます。また、医療政策の動向や勤務環境改善に関する議論など、看護を取り巻く環境は大きく変化しています。離職防止やメンタルヘルスの支援、育成の強化など、協会、支部として果たすべき役割はますます重要になっています。当支部では、研修の充実やネットワークの強化を通じて、現場の皆さまが抱える課題に寄り添い、横断的に支えられる体制づくりを進めてまいります。

春は新たな仲間が加わる季節でもあります。未来を担う看護職が、仙南地域で安心して成長できるよう、引き続き皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 『看護のひろば2025』報告

●日にち/令和7年9月2日(火)  
●場所/白石高校 ●対象者/白石高校看護科3年生

公立刈田総合病院 河原田 由香

専攻科へ進む3年生を対象に、保健師・助産師・看護師の仕事紹介とグループでの意見交換を行いました。学生からは、実習の大変さや睡眠欲求と闘いながら記録をまとめる苦労など、現在抱える課題が率直に語られました。また、看護を志した理由として家族の影響や「カッコいい看護師になりたい」という声もあり、私たち自身が看護職の魅力や再認識し、勇気をいただく機会となりました。日本の出生数は過去最少を記録し、人口減少が進んでいます。仙南地域としてより連携を深め、各職場で“カッコいい看護職者”としての姿を発信し、未来の担い手育成につなげていきたいと感じています。

### 〈白石高校生の感想〉一部抜粋

- 看護師・助産師・保健師の仕事内容や働き方について知り、将来の生活をより具体的に想像できるようになりました。
- 助産師や保健師の役割を学び、特に保健師は乳児から高齢者まで幅広い年代の人と関わる職業だと理解し、進学先を考えるうえでとても参考になりました。
- 夜勤や勤務形態、現場の大変さなどのリアルな話を聞き、看護師として働く姿が身近に感じられるようになりました。
- 看護師になった方々のきっかけや経験を知ること、自分にもその道に進む可能性があると感じ、進路を考えるきっかけになりました。
- 専攻科卒業後の進路を自分でしっかり考える必要性を感じ、将来は誇りとやりがいを持って働きたいという思いが強くなりました。
- 高校三年生という進路選択が大切な時期に「看護のひろば」を受講できたことが良かったです。
- 就職先を選ぶときにはインターンシップに参加し、実際の現場を体験することが大切だと学びました。
- 給料の話や現実的な視点で職場を選ぶ必要があると感じました。
- どの病院にも大変なことはありますが、それ以上にやりがいを感じられる仕事だと分かりました。
- 看護職は仕事中心になると心が苦しくなることもあるため、趣味や癒しを持って自分の心を守る大切さも学びました。



## 『まちの保健室』報告

- 日にち/令和7年10月4日(土) 10:00~14:00  
(縁 JOY スポーツフェスティバル 2025 in ZAO)
- 場所/蔵王町総合運動公園
- 実施内容・参加者/○白衣着用体験 67名 ○血圧測定 18名  
○物忘れテスト 27名 ○脳年齢チェック 19名 ○ストレスチェック 3名  
○口コモチェック 165名 ○ペジメーター 88名



### ●感想

蔵王町様の協力のもと、子どもからシニアまで多くの方にヘルスケアコーナーにお立ち寄りいただきました。「かんごちゃん」と一緒に体のチェックや看護について知っていただく良い機会となりました。

## 『研修会』報告

- 日にち/令和7年12月11日(木) 15:00~16:00
- 場所/仙南サナトリウム+
- テーマ/「入院後のケアと退院後の支援」
- 講師/仙南サナトリウム+ 看護部長 高橋裕子氏 ●参加人数/44名(会場36名、オンライン8名)



### 講演会の感想

- 高橋先生がサナトリウムでの経験を率直にお話くださり、そのメッセージが深く心に響きました。
- 認知症の患者さんとの関わり方に悩むことが多い中で、実践的な学びが得られました。
- ユマニチュードだけでなく、カンフォードブルケアや CVPPP など、さまざまな技法を知ることができ、今後のケアに活かせる内容でした。
- スタッフ全員で患者さんを支えていく姿勢の大切さを再認識する機会にもなりました。
- 精神科医療の大変さや、入院から退院支援までの流れについても理解が深まり、仙南地域の多くの施設が直面している課題を共有できた研修となりました。

## 施設見学報告

丸森病院様のご協力のもと、役員委員会合同会議内で総看護師長様より、病院および看護師の現状についてご説明をいただき、併せて施設を見学させていただきました。

- 日にち/令和7年10月2日(木) ●場所/丸森町国民健康保険 丸森病院
- 感想/丸森病院を見学し、自然に囲まれ、きれいに整理された院内がとても印象的でした。壁には台風の爪痕が残っており、水がかなり上がったことを知りました。住民の方や救助の方、職員のみなさんが医療や介護を継続するために協力しあい乗り越えた大変さを知ることができました。



金上病院 渡邊さゆり

## 令和8年度総会について

令和8年度宮城県看護協会仙南支部総会ならびに第1回研修会のお知らせ

- 日にち/令和8年4月18日(土) 10時~11時研修会、11時~総会
- 場所/大泉記念病院会議室

### 〈研修会について〉

- テーマ/「地域包括ケアシステムにおける在宅の役割」
- 講師/宮城県看護協会柴田角田訪問看護ステーション 所長 上澤 香澄氏  
訪問看護ステーションしろいし 株式会社いくらグループ 訪問看護コーディネーター 加藤 由美氏
- 内容/訪問看護ステーションの現状や利用者の特徴、今後の課題についての講義、座談会形式でのディスカッション
- 申し込み方法/二次元コードまたは、メールにてお申し込みください(締め切り4月5日(日)まで)  
メール申込の場合は、件名【仙南支部研修会参加希望】、氏名、施設名を記載の上、連絡先 kazu-sato@ooizumi.or.jp 佐藤(仙南支部長)まで、ご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。



仙南支部研修会参加申し込み docs.google.com

## 登録お済ですか?

宮城県看護協会 公式 LINE

研修案内や様々なイベントなど情報を配信していますので、お友達登録をお願いします。



### 編集後記

支部だより 35号を発行することができました。役員として市町の保健師さんや他病院の看護師さんたちと出会い、同じ目標に向かって活動できたことが何より楽しかったです。丙午の今年、看護協会仙南支部のさらなる発展を願い、今後も皆さまと歩んでいければ幸いです。今後どうぞよろしくお願い致します。

広報委員 佐々木